

ウェブで使われているクッキー

「クッキー【Cookie】」を知っていますか。

ウェブサイトにアクセスしたとき「当サイトでは Cookie を使用しています。Cookie を有効にしてください。」と表示されたことはありませんでしたか。どうすれば有効にできるか、またクッキーはどんな役割を果たしているかを紹介します。

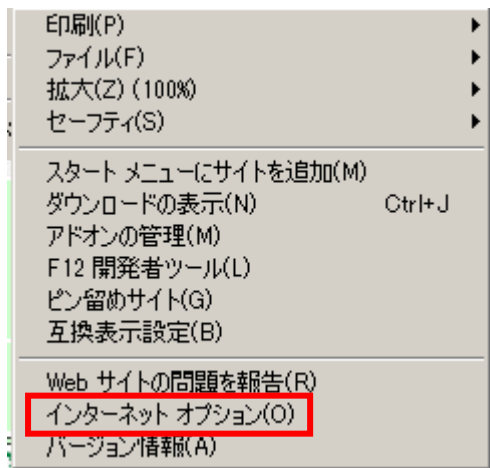
「Cookie」は、お菓子のクッキーと同じつづりです。色々説はありますが、一説では、おみくじ入りのクッキー（フォーチュンクッキー）のように毎回異なる内容が表示されることから付けられた名前だと言われています。

クッキーを有効にする方法

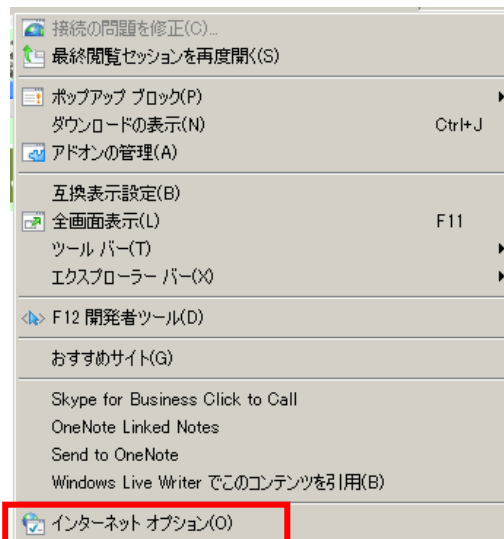
クッキーを有効にするか無効にするかは、インターネットエクスプローラーや Edge などのブラウザソフトでできるようになっています。

InternetExplora11 の場合は

- ①画面右上の歯車アイコン又は「ツール(O)」をクリックする
- ②いずれかの「インターネットオプション」をクリック

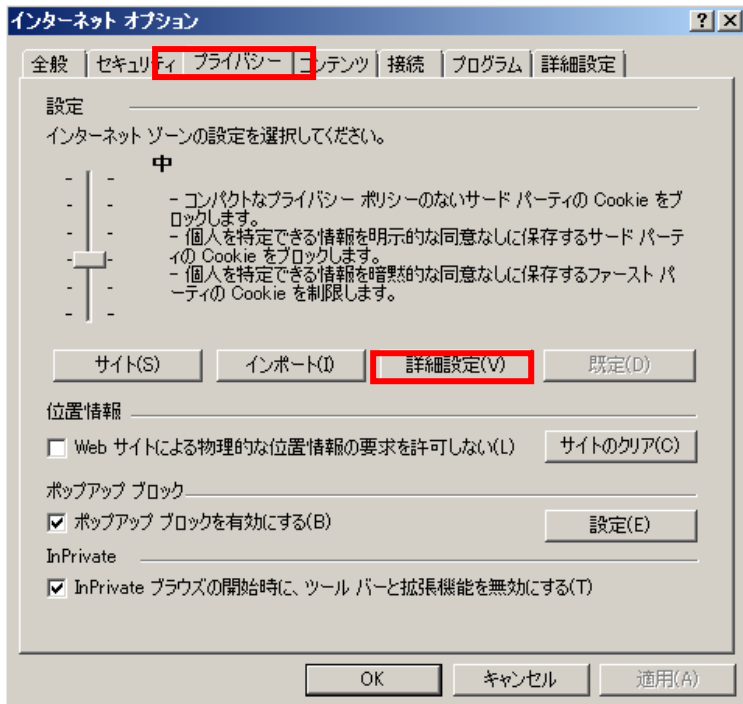


歯車アイコンクリック

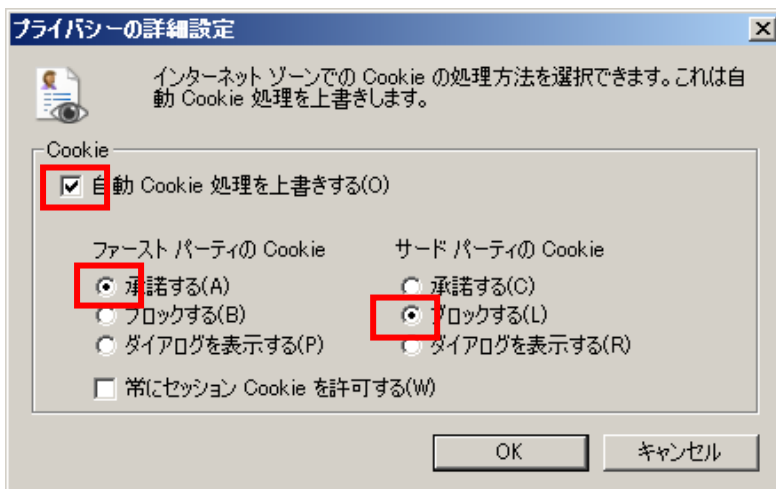


「ツール(O)」 クリック

③ 「プライバシー」 タブの 「詳細設定」 ボタンをクリック



④表示された画面で「自動 Cookie 処理を上書きする」にチェックをし「ファーストパーティの Cookie」欄は「承諾する」、「サードパーティの Cookie」欄は「ブロックする」をチェックする



⑤ 「OK」 ボタンをクリックする

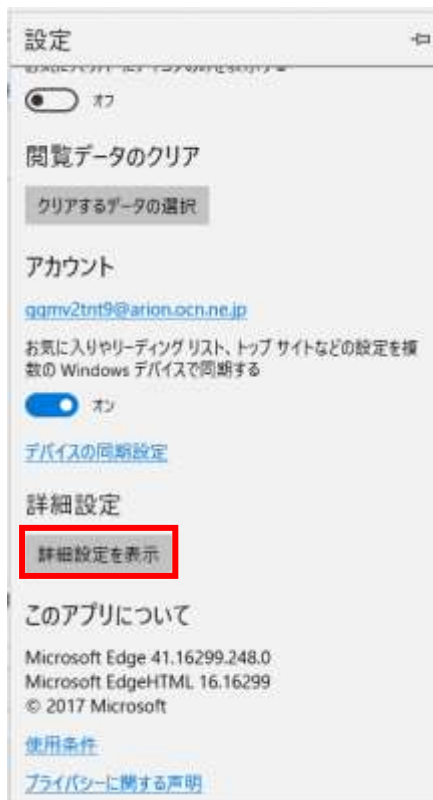
なお、「自動 Cookie 処理を上書きする」のチェックを外した時のクッキーの処理は、「インターネットオプション」の「プライバシー」タブにある「設定」欄の「既定」ボタンが有効（文字がグレーになっている）の時（③の図参照）のスライダーの位置で決まります。

Edge の場合は

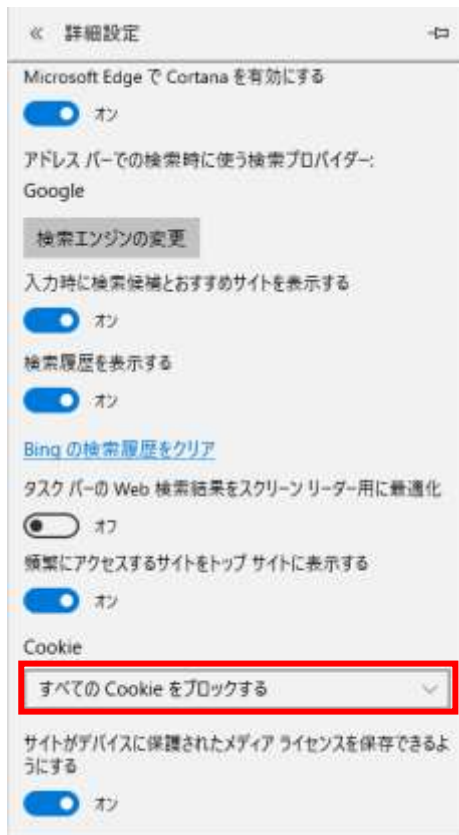
- ①画面右上の「...」（設定）をクリック
- ②表示されたメニューから下のほうにある「設定」をクリック



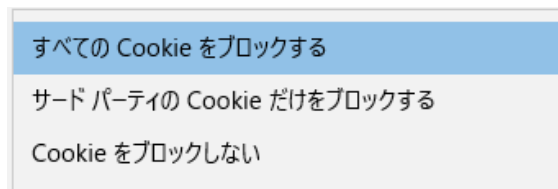
- ③表示された「設定」画面の下のほうにある「詳細設定を表示」ボタンをクリック



④表示された「詳細設定」画面で下にスクロールし「プライバシーとサービス」を見つけたらなお、下へスクロールし「Cookie」の見出しの下にある選択窓の右にある下向き山形をクリックする。



⑤表示されたメニューで設定できる項目は、



- i. すべての Cookie をブロックする
- ii. サードパーティの Cookie だけをブロックする
- iii. Cookie をブロックしない

の3項目ですが、Cookieを有効にする場合は、「サードパーティの Cookie だけをブロックする」をクリックします。

クッキーの役割ほか

クッキーは、ウェブサイトが訪問してきたユーザのブラウザに次の訪問があったときに前回に訪問した時の内容を確認するために書き込むデータのことです。ウェブサイトごとになります。例えば、前回の訪問日時、手続きがどこまで済んだか、ID やパスワードなどです。ブラウザは、ウェブサイトから書き込まれたクッキーをウェブサイトの名前を付けて保管しています。

ウェブサイトとパソコンのブラウザは、電話のように通話（通信）の開始から終了までつながっていることはなく、エンターキーを押してブラウザから送信をし、その返信がウェブサイトからくるたびに切れるしくみになっています。つまり一回限りの送受信です。それがつながっているように見えるのは、この保管されていたクッキーというデータを二回目以降ブラウザからウェブサイトへ送信するからです。

クッキーの種類

クッキーには、「ファーストパーティークッキー」と「サードパーティークッキー」の2種類があります。

「ファーストパーティークッキー」とは、直接 URL を指定して訪れたウェブサイトに直接関連づけられるクッキーです。

これに対して「サードパーティークッキー」は、HTML 文書の中にある広告や、参照先のサイトなど直接訪れていないウェブサイトのクッキーです。

ウェブページ内で広告や他のウェブサイトの記事を参照するとき、訪れたウェブサイトには直接広告や他ウェブサイトの記事のデータはなく、広告や記事のデータのあるウェブサイトに改めてデータの送信を要求し表示します。その要求を受けたウェブサイトからデータを送るときにそのウェブサイトのクッキーを混ぜて送ります。これが「サードパーティークッキー」です。「ファーストパーティークッキー」を有効にし、「サードパーティークッキー」を拒否できるブラウザが増えています。

クッキーの削除

クッキーは残存期間をウェブサイト側で指定することができます。残存期間が過ぎれば、ブラウザソフトが自動的に削除します。また、残存期間が指定されない場合は、ブラウザソフトが終了した時点で削除されます。

一方、手動でもクッキーを削除できます。手動での削除は多くのブラウザは一括削除としています。

削除の方法はブラウザにより異なりますが、Edge の場合を例にとると

- ①画面右上の「…」(設定)メニューをクリック(画面は有効にする方法を参照)
- ②表示されたメニューから下のほうにある「設定」をクリック(画面は有効にする方法を参照)
- ③表示された「設定」画面の下のほうにある「閲覧データのクリア」の「クリアするデータの選択」ボタンをクリック(画面は有効にする方法を参照)

- ④ 「閲覧データのクリア」の一覧表にある「Cookie と保存済みの Web サイトのデータ」を選択する



- ⑤ 「クリア」 ボタンをクリックする

「ブラウザを閉じるときに、常にこれを消去する」を「ON」にするとブラウザを閉じるとき、個々のクッキーの有効期限にかかわらずクッキーは消去されます。

「Cookie と保存済みの Web サイトのデータ」以外に以下の内容があり、指定すればクッキーと同じように削除することができます。

1. 閲覧の履歴
2. キャッシュされたデータとファイル
3. 保存して閉じたタブや最近閉じたタブ
4. ダウンロードの履歴
5. フォームデータ
6. パスワード
7. メディアライセンス
8. Web サイトのアクセス許可